

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第一小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は学校教育目標を達成することをめざして、校務分掌などを活用しながら組織的に教育活動に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校長の目指す学校像の具現化に向け、教職員一人一人が観点を具体的に絞り込んで目標を設定し、教師力の向上を目指すことで、総体的な組織力を向上させることができた。 ・研究開発学校指定における取組においては、個別最適な学びの充実に向け、学年や学級の別を問わず授業改善が進みICT活用技能が著しく向上した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校長先生をはじめとして、子供たちに向けて情熱をもって接しているのがわかる。 ・教職員の評価が昨年よりも厳しいものになっているが、保護者評価は少しではあるが向上している。 ・目標達成に努めていると感じる。今後も変わらず取り組んでいただきたい。 ・一小的問題というより社会問題だが、教員不足が否めない。現況は校長先生を中心に団結し、良いチームワークが取れていると感じる。 ・教員の休職等により当初の予定通りに進めることが困難な状況、時期もあったと思うが、協力しながら分担され、「考え方」「受けとめ方」の違いについても話し合いがもたれたと思う。
	2	学校は事故の発生や不審者の侵入などの危機発生時、あるいはいじめの防止等に向けて対応マニュアルを作成し、迅速に対応できる体制づくりに努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の瑕疵による事故を防ぎ計画的な維持管理を実践している。また、関係職員や関係課と連携を図りながら自主的な営繕を進めることができた。 ・様々なトラブルを可能な限り想定した危機管理体制の構築に努めている。 ・いじめや不登校など生徒指導上の課題や外国籍児童、特別支援教育等への対応に関しては、教職員との情報交換や専門スタッフ(SC,SSW)及び専門機関等を活用することで、早期発見・早期対応に努めている。 ・登下校については、班長会議・世話人会議を適切に実施し、PTA校外部や地域とも連携しながら安全指導を徹底している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室と教室との連絡方法に設備面で不安がある。(様々な緊急事態の際にインターホン等がないので、ピンポイントで連絡が取れない。) ・いじめに関しては早期発見が大切であり、担任だけではなく児童にかかわるすべての人からの話に耳を傾けることが重要だと感じた。 ・定期的にいじめの調査を行う等の対策をしている。いじめを相談しやすい環境だと感じる。 ・地域としても協力していきたい。児童、保護者共にNo.6の値が低い。教育相談の態勢を整え、広報することが求められているのではないかと。
基礎学力の定着	3	授業をはじめとする学校における教育活動により、児童は学力において基礎・基本を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題に係る指導法の工夫改善を各教科等において実践することを軸に、本校の実態を踏まえた特色ある教育課程を編成し、進捗状況の共通理解を日常的に図ることで指導力、基礎学力の向上に努めている。 ・今年度の埼玉県学力・学習状況調査において県平均を上回ったのは4項目にとどまった結果を踏まえ、学力向上プランの見直しや研修、授業改善に生かしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の自己評価では、昨年度より低いが、今年度、研究発表や授業参観から見ると児童の表情等はとても良い。教員はもっと自信をもってよいと思う。 ・ICT機器等の活用により、学習しやすい環境を整えている。 ・研究発表を拝見して個人やグループの取組み、特に児童同士の教え合いができており、担任がアドバイスすることでスムーズに授業が進んでいたように感じた。 ・先生不足のため、やや不安が残る。
	4	学校は児童が学習内容をより理解できるよう、指導と評価の一体化を図りながら授業改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思考力や表現力を育むために教科や学年の別を問わず、ICT機器活用を目指した教職員の熱心な研究が進み、実効性の高い授業改善を実現した。 ・福祉教育や運動会の演目指導においては新たな外部指導者を導入し、体験活動の充実を実現した。地域学校協働活動の充実により次年度も新たな体験活動をさらに展開したい。 ・初任者研修、年次研修、示範授業、校内研修を中心に授業を参観し、具体的な指導・助言を行うことで授業改善に努めている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一小的のグランドデザインがあり、校長の学校だよりがあり、その中で教育の重要性を説いた上で学習していると思う。 ・授業や研究発表を参観させていただいたときに先生方の努力を感じました。

規律ある態度の育成	5	児童は生活のルールにそって挨拶や言葉遣いなど、学年等にふさわしい基本的な生活習慣を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活上のルールや持ってきてよい物、ノートの取り方等、学校全体で細かな約束事を定めて指導に当たっているのので、児童は落ち着きある学校生活を送っている。 ・タブレット端末の効果的な活用に向けて、児童に考えさせた使用上のルールを活用している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が気持ちの良い元気な挨拶をしている。 ・校外になると気がゆるむのか、下校中にふざけて歩いているところをみかける。 ・大人に対しての言葉遣いが気になるときがある。 ・各項目とも教職員の結果は昨年度より厳しい。保護者結果は職員ほどの変化はない。昨年度、今年度以上に来年度はPRが必要なのではないか。保護者の不安が昨年同様に値が高い。サポーターや支援員、朝霞ぐらんぱの会などの活動をもっと広報したらどうか。
	6	学校は、児童の実態を踏まえて挨拶や言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付ける事ができるように工夫をしながら継続的に指導をしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部会において、各学年、学級の様子や一人一人の児童の様子について情報を共有し、実態把握に努めている。配慮が必要な児童が増えてくる中で、チームとして対応することを徹底するとともに、柔軟かつ迅速に対応している。 ・「言葉遣い、あいさつ」については、全体的には良くなってきているが、できる子できないこの差が大きい。「望ましい言葉遣い、あいさつ」が実現できるよう、これまで以上に取組等を生徒指導部で検討していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身に付けられるよう毎年工夫しながら継続的に指導ができていく。 ・どんな場面においても正しい行動がとれるよう今後も継続して指導をお願いしたい。 ・登校時に挨拶ができる児童とできていない児童がいる。
健康・体力向上	7	児童は自分の目標に向かって体育の授業に積極的に参加したり、休み時間に元気に外で遊んだりしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業や外遊びはマスク無しでコロナ禍前と同じように実施している。 ・マラソントイムや体育朝会、なかよし外遊びなどにおいても、同様に実施している。 ・運動会においては、熱中症対策の観点から昨年同様、競技種目数を減らし午前中開催という形で全学年一斉参加で実施した。来年度は10月中旬に時期をずらして開催予定である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みの成果が表れている。 ・通りがかりに校庭で元気に遊んでいる姿を見かける。
	8	学校は、児童の体力を向上させるために、体育の授業や休み時間を使って計画的な指導を継続している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「なわとび」や「マット運動」など、すべての運動教室を開催、実施することができ、児童の体力向上に繋がった。 ・新体力テストの総合評価A+B+Cの合計は78。5%と県平均よりは多少上回ったものの、昨年度よりは下回った。今後も「体力アップカード」や「なわとびカード」を活用して児童の体力向上に努めていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な指導を継続していると感じる。運動会も素晴らしかった。 ・運動会で元気に走り、皆と力を合わせてやる団体種目が素晴らしかった。先生方の取り組みの成果だと思う。

連携	9	<p>学校は、学校運営協議会の取組の他にも、保護者や地域住民、関係団体との連携をすすめ、社会に開かれた教育課程の編成や実施に努めている。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の充実に向け、学校運営協議会の組織変更や地域の教育力の積極的運用に向けた環境づくりを開始した。次年度は学校運営協議会が、今以上に本校のプレーンとしての機能を果たすことのできる環境を整備する。 ・特色ある教育活動の充実に向けた新たな人材発掘の手立てを確立する。 ・150周年記念事業については実行委員会の積極的な活動により、その意義を共有できる取組を実現した。 ・朝霞第一中学校区ふれあい推進事業の事務局として数年ぶりの実施に向け、舵取り役となり、初の試みである「ふれあい清掃活動」をPTA執行部や町内会の協力を得て実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・150周年記念事業の取組は、学校への負担も少なく、素晴らしい行事になっていた。学校を知る地域や実行委員会の方々の力だと思う。 ・校長先生が尽力されていることが伝わります。 ・地域の活動や保護者との会話の場が増えれば情報交換など一層連携して活動範囲を広げていけるのではないかと。先生方の協力も力強いものがある。
	10	<p>学校との連携を通し、児童の安全確保や健全育成の実現に向けて、保護者や地域がそれぞれの活動に取り組んでいる。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っているPTA常任委員会に管理職が出席し、学校の現状を毎回情報提供している。 ・学校メールや学校だより、学校HPを適切に活用し、地域や保護者にとって有用な情報発信をすることができている。 ・登下校時の安全確保についてはPTA校外部のパトロールを中心に保護者、地域の理解や協力も得て、実現できている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団では、4年生の自転車教室や5、6年生のミシンのお手伝い、環境美化活動に取り組んでいる。 ・学校応援団、朝霞ぐらんぱの会、PTA、交通指導員、町内会等、各種団体と連携が取れている。 ・「ふれあい清掃活動」のときのように、地域の町内活動と一緒に参加していただき、これまで以上にコミュニケーションが取れるとよい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満